

# 被災地ボランティア報告書

第1班:平成23年5月30日(月)~平成23年6月1日(水)



廃棄物を生かす力

白井グループ

白井 徹  
嶋田 達也(作業部)  
木村 英恵(営業部)

■1日目 5月30日(月)

仙台到着

公益社団法人 宮城県生活環境事業協会 訪問

■2日目 5月31日(火)

石巻市にてボランティアの実施

有限会社 東宮城環境衛生センター 訪問

石巻市街地視察

■3日目 6月1日(水)

東京へ

## 面会者：野村専務理事、柴田総務部長

会社周辺は地盤が弱く、建物の亀裂が多く見られた。修繕は混み合っていてまだ待ち状態。  
3月11日より、4月7日の余震のダメージが大きかったとおっしゃっていた。  
廃棄物の回収については、県内の業者でやることになったとの話だった。



1日目 公益社団法人 宮城県生活環境事業協会 訪問





## 2日目 ボランティア活動

### ■ 作業時間

11時～15時30分(途中休憩有り)

※9時半にはボランティアセンターにいたが、依頼の人数が集まるまで待機。  
また、ボランティアセンターから作業場所までの移動に時間がかかった。

### ■ 作業内容

個人宅敷地内の津波で流された廃棄物の除去  
ヘドロの除去



## 2日目 ボランティア活動

### 資材置き場



## 2日目 ボランティア活動





## 2日目 ボランティア活動



## 2日目 ボランティア活動



## 2日目 ボランティア活動



## 2日目 ボランティア活動



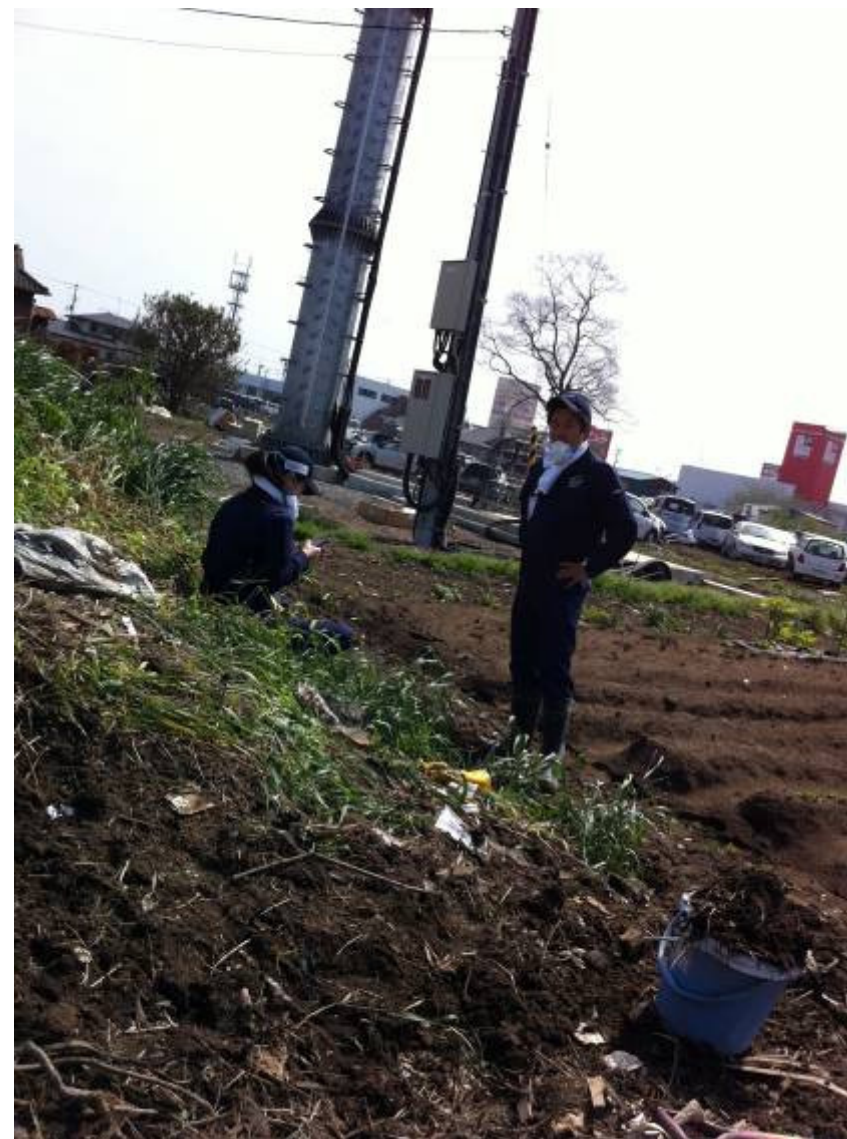
## 2日目 ボランティア活動

リーダーがボランティアTシャツを作成、配布



## 2日目 ボランティア活動

### 休憩



## 2日目 ボランティア活動



地元出身であるタカハシさんが言っていた。

募金をするのもいいけれど、その募金のお金を使って実際に被災地に来てボランティアをして欲しい。まだまだ人は足りない。直接的な支援が必要だ。

石巻の街はボランティアがたくさん来てくれてかなり復興が進んでいるが、石巻でも浜の方には全然行き届いていない。石巻ボランティアセンターから浜の方に行くとなると、移動だけで1時間はかかるのではかどらない。ボランティアセンターの拠点をもっと作るべきだ。

## 2日目 ボランティア活動

### 一緒に作業をしたメンバー





### 面会者: 宇角代表取締役

地震直後は従業員全員を解雇し、落ち着いたら再雇用をしようと考えていた。それほど地震の精神的ダメージが大きかったこと、仕事ができる状態ではなかったことが伺える。しかし、お客様である石巻赤十字病院から「ゴミを回収してもらわないと困る！」と言われ、目が覚めた。その後、できる限りで回収作業を再開。今回の震災により、仕事が**500倍**になるそうだ。



虫除けスプレアの寄付



### 3日目 石巻市街地 視察



### 3日目 石巻市街地 視察





【ボランティア活動に参加して】

震災から3か月近く経ち、道路にあったがれきは撤去され、車がスムーズに通れる状態。中心地を見れば普通の時間が流れているようだった。

しかし、テレビで見るより現実には過酷であり、人材がまだまだ必要なようなので協力できることがあるなら、今回で終わらず継続して協力していきたいと思った。